

育福祉会館
独居老人宅給食サービス

日午前9時30分―正午、保健

後4時、青少年ホーム。

が見物し、好天に恵まれた湯の町は浮かれ気分にかわいい法被姿で子供みこしや踊りも登場し、祭りを盛り上げた。

3千人が自然満喫

かたかみ
春たんぼ

10年間の回顧展も

鯖江



文殊山登山スタンプラリーに出発する親子連れら

鯖江市片上地区の春祭り、鯖江かたかみ春たんぼ'97(福井新聞社後援)は二十九日、同市片上公民館周辺で開かれた。文殊山登山や田植え体験など多彩なイベントが行われ、約三千人の人でにぎわった。

同実行委が毎年春に開いていて、今年で十回目を迎えた。

恒例の文殊山(標高三百六十五㍎)登山スタンプラリーには親子連れら約千人が参加。同公民館前通りまで鯖江・丹生消防組合音楽隊に先導され、元気良くスタートを切った。初夏を思わせる陽気のなか、頂上など三カ所のチェックポイントでスタンプを押しもらいながら、往復約二時間の行程を楽しんだ。

「春たんぼ十年展」では、

国町

「椿三味」と題して鈴木マミ子さんの銀細工、加藤一幸さんの創花、小林和枝さんの墨絵を展示。いづれ

もツバキの花や葉、樹木をいろいろな面から作品に仕上げてある。開館は午前十時から午後六時まで。

これまでの春たんぼのポスターや写真を展示。片上小児童が描いた「私たちのふるさと片上の未来」展には、未来都市のような絵など夢いっぱい作品が並んだ。苗を放り投げて植える「空中田植え」や長さ五十㍎の巻きすづくりには大勢の人が挑戦。演芸師の海老一染之助、染太郎さんの公演も二回開かれた。

韓国・安養のJ.C 武生市長を表敬訪問

武生青年会議所と交流を続けている韓国・安養青年会議所の一行が二十八日、武生市役所を訪れ、小泉市

